



★ITを活用し農業事故減らしたい



↑ 入賞した学生達と学校長（前列中央）、審査員のみなさん（後列）

次代を担う学生のIT実践力を高めることをねらいとした、第3回『IT未来を拓く実践力コンクール』（1学年：新聞スクラップ部門、2学年：英語プレゼンテーション部門）が、12月2日（月）に開催され、学生の最終発表と、審査、表彰式が行われました。

新聞スクラップ部門は、情報システムコースの松倉洋輝さんの「農作業中事故 全産業の10倍」が受賞しました。松倉さんは「増える農作業中の事故の記事から、ITを活用し農業事故を減らしていきたい」と発表しました。

英語プレゼンテーション部門の学校長賞は、「ドイツ」について発表した小野瀬あゆ（情報セキュリティコース2年）さんが受賞しました。ドイツの有名な城や大聖堂など、素晴らしい建築物や自然について、流暢に紹介していました。

酒井雄一学校長からは、「IT技術者にとって英語力の向上は勿論、情報を的確に捉え、要約し表現するなど言語化する能力が重要」とのお話がありました。グローバルに活躍するIT人材の育成が喫緊の課題となっています。本コンクールは学生のIT実践力向上の一助となるものでした。

<新聞スクラップ部門>

学校長賞「農作業中事故 全産業の10倍」

松倉洋輝さん(緑岡高卒)

優秀賞 「社長の“分身”アプリに」

海野雄哉さん(土浦工高卒)

優秀賞 「『特ダネ』米欧支援急げ」

湯浅隼人さん(日立北高卒)

<英語プレゼンテーション部門>

学校長賞「ドイツ」

小野瀬あゆさん(那珂高卒)

優秀賞 「フィンランド」

木皿利旺さん(石岡商高卒)

優秀賞 「ジャマイカ」

齋藤諒悟さん(勝田工高卒)

◆英語プレゼンテーション部門

講評：茨城県立勝田高等学校・勝田中等教育学校 上金紀子 教頭
先日、IT短大で学ぶ勝田高校の卒業生から進路報告があり嬉しく感じています。この部門では、木皿さんのフィンランドを紹介する分り易い英文、齋藤さんのジャマイカの文化・スポーツ紹介、小野瀬さんの流暢なドイツの魅力紹介がありました。何れも練習を重ねた成果といえるものでした。

◆新聞スクラップ部門

茨城新聞社
小岩泰規 NIEコーディネータ
全作品を読ませて頂き、年々レベルが向上していると感じます。
皆さんの作品は、記事を自分事として捉え、IT技術者としての視点でその解決策も考えて具体的に書き上げていました。中でも学校長賞となった松倉さんは、身近な農業の作業事故に対し、ITを活用しようとする意欲的な作品でした。

◆全体講師

茨城県立勝田工業高等学校 志賀栄英 教頭
新聞スクラップ部門は、学生の皆さんが、新聞記事を読み込み、社会的課題を分析し、批判的に真偽を捉えています。更に、IT技術者としての姿勢が感じられる発表でした。英語プレゼンテーション部門は、練習を重ね、世界の国々をユニークな視点で紹介していました。

